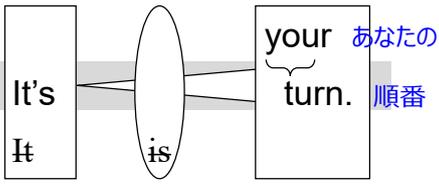


◇ OK, Asami. さあ、あさみ。

※ OK: 新しいことを話し始めたり、一度中断する時に言う;  
{合意や許可を表して} オッケー

◇ It's your turn. あなたの番です。



※ it: その場の状況、出来事をさす; 天候、時刻を言う時に主語にする → ふつう訳さない;  
{既に言及されたものをさして} それ  
※ It's: It is の短縮形

◆ Come to the front, please 前に来てください。



◆ 「～してください」と指示するには、主語は無しで、動詞の原形で文を始める  
※ the X: {Xの中でも、文脈・状況から誰もがわかる特定のXを指したい時に the をつけて}  
(その、例の) X → the は特に訳さなくてもよい

◇ Me? Oh, no. 私ですか? えー。

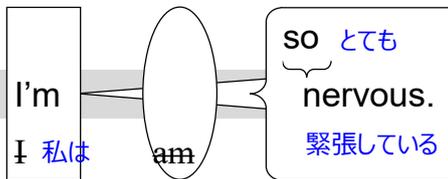
※ no: 誰かの言動などで驚いたり、困っていることを表す時に言う;  
{合意しない、否定することを表して} いいえ

◆ Be brave. 勇気をだしなさい。

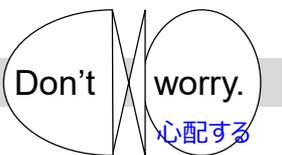


※ be: be動詞 (am, are, is 等) の原形

◇ I'm so nervous. 私はとても緊張しています。

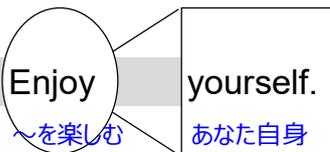


◆ Don't worry. 心配しないで。

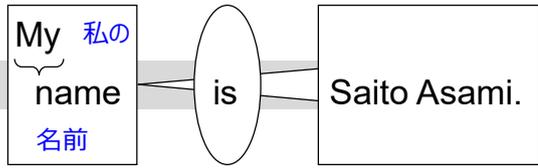


◆ 「～しないでください」と指示するには、主語は無しで、  
"Don't + 動詞の原形"で文を始める  
※ don't: do not の短縮形

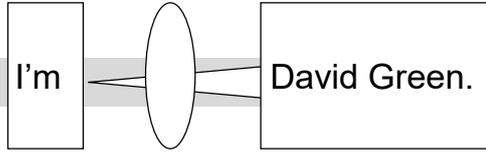
◇ Enjoy yourself. (あなた自身を) 楽しみなさい。 → 楽しく過ごしなさい。



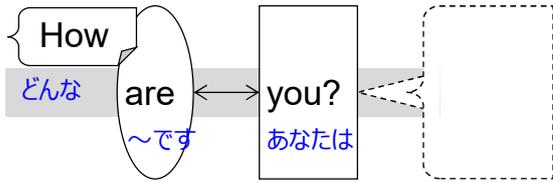
◇ Hello. My name is Saito Asami. こんにちは。私の名前はさいとうあさみです。



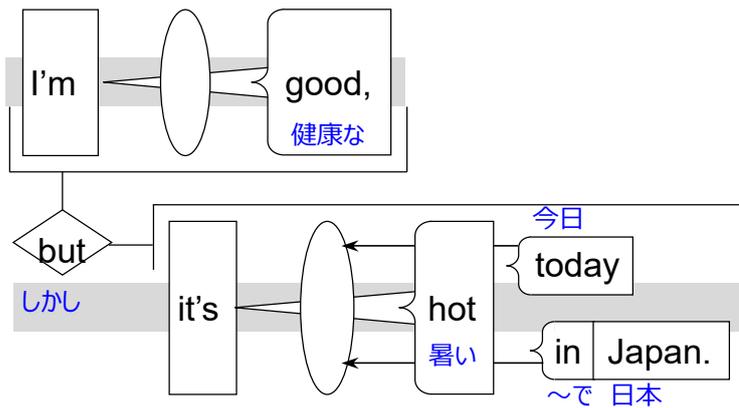
◇ Hello. I'm David Green. こんにちは。私はデビッド・グリーンです。



◇ How are you? 調子はどうですか。

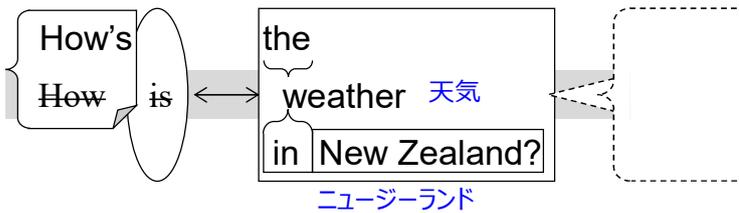


◇ I'm good, but it's hot today in Japan. 私は元気ですが、日本は今日は暑いです。



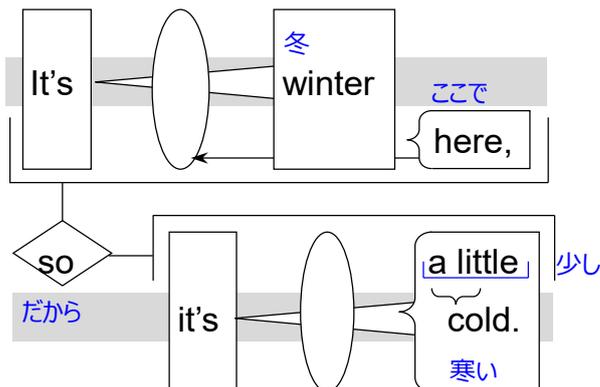
※ but : {節と節をつないで} しかし、けれども  
 ※ it : その場の状況、出来事をさす ; 天候、時刻を言う時に主語にする → ふつう訳さない ; {既に言及されたものをさして} それ

◇ How's the weather in New Zealand? ニューゼーランドの天気はどうですか。



※ the X : {自然環境や日常生活の一部として誰もが知っている特定のXを指したい時に the をつけて} (その、例の) X → the は特に訳さなくてもよい

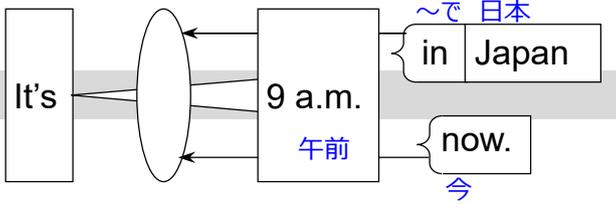
◇ It's winter here, so it's a little cold. こちらは冬で、なので少し寒いです。



※ so : {節と節をつないで} だから  
 ※ a little : ちょっと、多くはなく  
 little : ほとんど~ない {少なさが強調される}

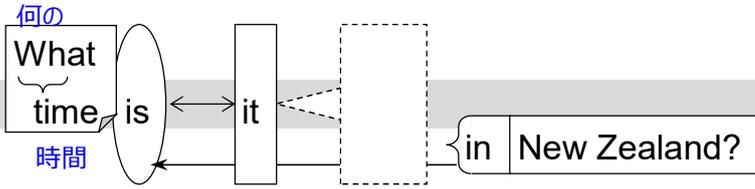
◇ Oh, really? あら、本当に？

◇ It's 9 a.m. in Japan now. 日本では今、午前9時です。



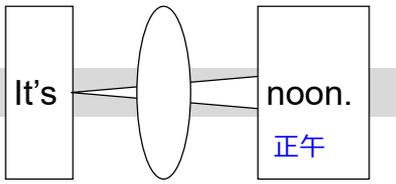
- ※ it : その場の状況、出来事をさす ; 天候、時刻を言う時に主語にする → ふつ訳さない ; {既に言及されたものをさして} それ
- ※ It's : It is の短縮形
- ※ a.m. : 午前 ⇔ p.m. : 午後

◆ What time is it in New Zealand? ニュージーランドでは何時ですか。



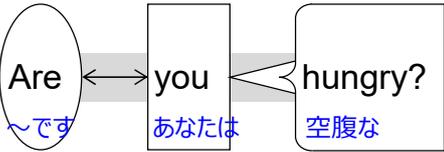
- ※ 時刻について質問するには、
- ① : 時刻の部分をも what time に換えて文の始めに置き、
- ② : 質問する文の語順にする。(be動詞の文なら動詞と主語を入れ替える)

◆ It's noon. 正午です。

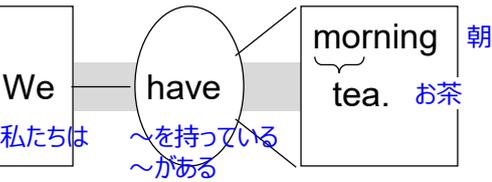


◇ Wow, noon. わあ、正午ですか。

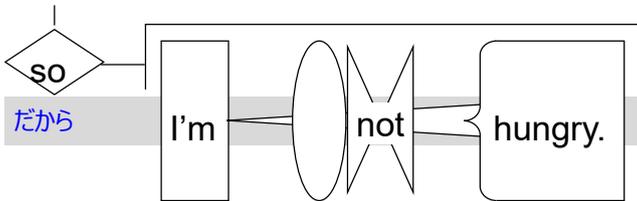
◇ Are you hungry? あなたはおなかがすいていますか。



◇ No. We have morning tea. いいえ。私たちにはモーニングティーがあります。

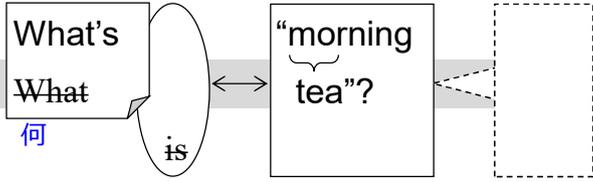


◇ So I'm not hungry. だから私はおなかがすいていません。

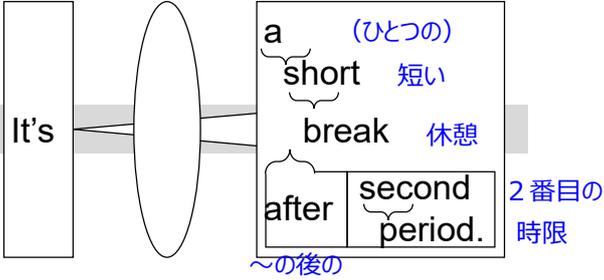


- ※ be動詞の後に not を置くと「～ではない」と否定する文になる

◇ What's "morning tea"? 「モーニングティー」とは何ですか。

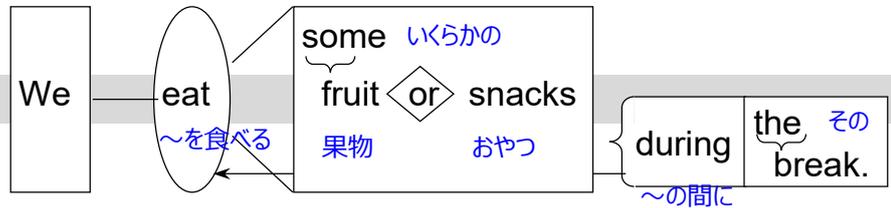


◇ It's a short break after second period. (それは) 2 時限の後の短い休憩の事です。



※ after ~ : {時間} ~の後の

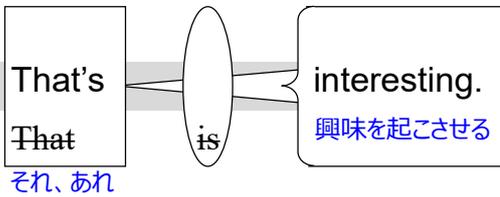
◇ We eat some fruit or snacks during the break. 私たちはその休憩の間に果物やおやつを食べます。



※ A or B : A または B, A や B

※ the ~ : {文脈・状況から皆が特定できるものを指し} その～

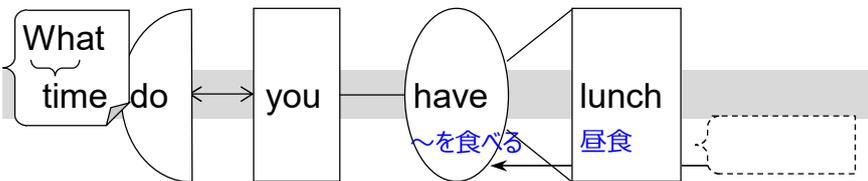
◇ That's interesting! それは興味を起こさせます。 → それは面白いです。



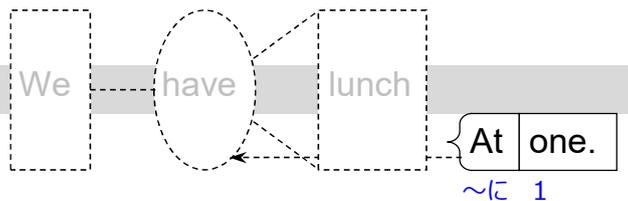
※ that : {既に言及された人、物、考えなどを指して} それ ;  
{自分から遠くにいる人、物を指して} それ

※ That's : That is の短縮形

◆ What time do you have lunch? あなたたちは何時に昼食を食べますか。



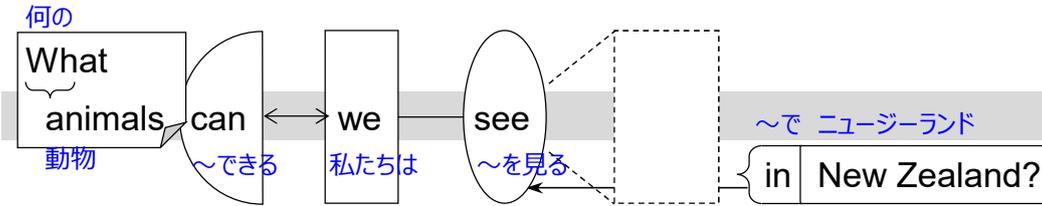
◆ At one. 1 時です。



※ at ~ : {時間} ~[時刻] に

◆ What animals can we see in New Zealand?

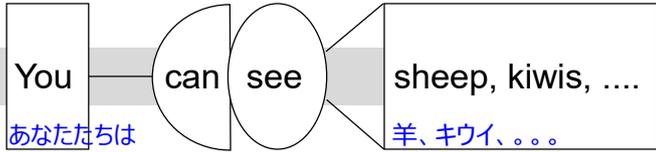
ニュージーランドでは私たちは何の動物(たち)を見ることができますか。



※ 動物、スポーツ、色などの種類について質問するには、  
"What + 名詞 + ...?" の形を使う。

◆ You can see sheep, kiwis, ....

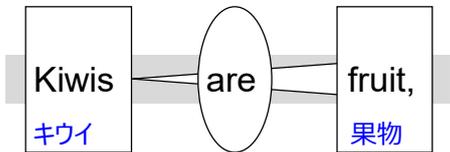
あなたたちは見ることができます 羊やキウイや。。



※ sheep : 複数形も sheep

◇ Kiwis? Kiwis are fruit, right?

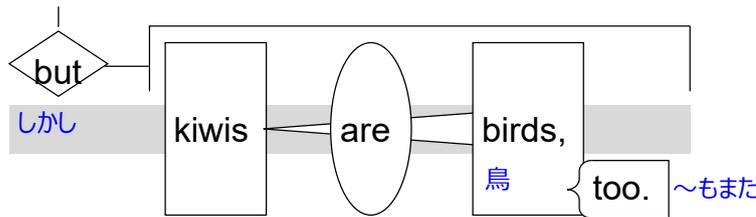
キウイ? キウイは果物ですよね?



※ fruit : 果物 (通常、数えられない名詞として扱う)  
※ right : 正しい、合っている; 右の / 右側 / 右に; ちょうど / {言ったことが正しいか確認する} ですよ

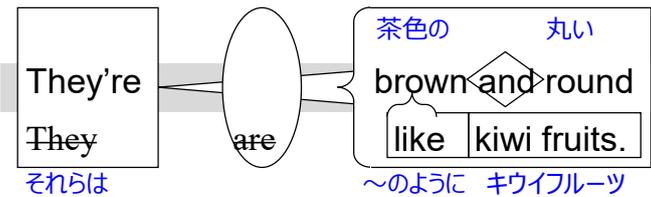
◇ Yes, but kiwis are birds, too.

はい、でもキウイは鳥でもあります。



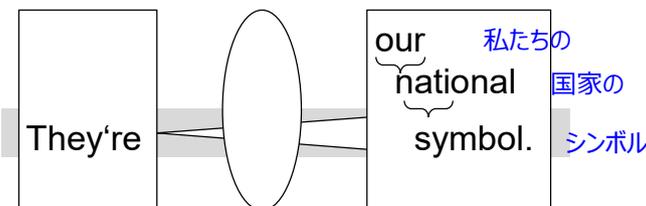
◇ They're brown and round like kiwi fruits.

それらは茶色くてキウイフルーツのように丸いです。



◇ They're our national symbol.

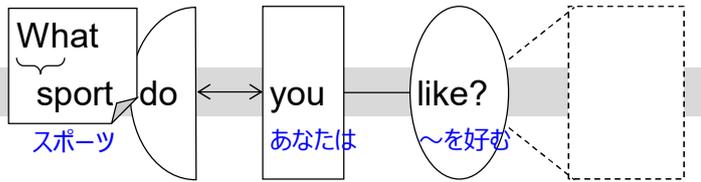
それらは私たちの国のシンボルです。



◇ I see.

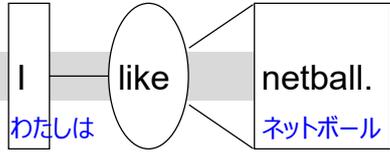
(私は) わかります。 → そうですか。

◆ What sport do you like? あなたは何のスポーツが好きですか。

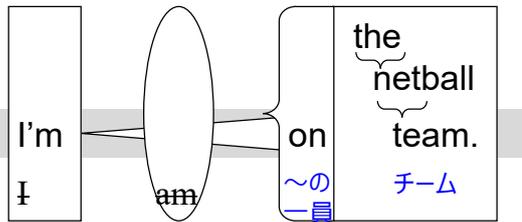


※ sport : 答えとして2つ以上のスポーツを期待する場合は sports と複数形にしてもよい

◆ I like netball. 私はネットボールが好きです。



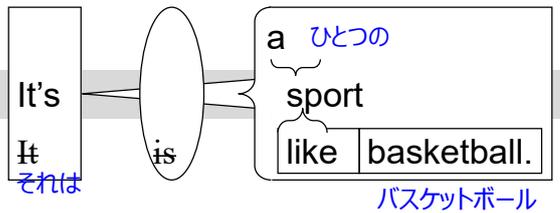
◇ I'm on the netball team. 私はネットボールのチームに入っています。



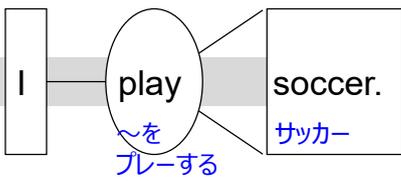
※ on ~ : {所属} ~の一員 ; {空間} ~の表面に  
 ※ the ~ : {文脈・状況から皆が特定できるものを指し} ~ \*the は特に訳さない

◇ Netball? ネットボール?

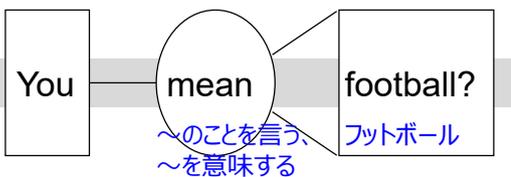
◇ It's a sport like basketball. それはバスケットボールのようなスポーツです。



◇ Really? I play soccer. 本当に? 私はサッカーをプレーします。



◇ You mean football? あなたはフットボールのことを言っていますね?



◇ Yes. はい。